

単語の種類

学習日 月 日 ( )

(例文) 私は家に帰る。

自立語とは↓例文の「私」「家」「帰る」のように、それだけで一文節を作ることができる単語のこと。

☆ 次の各文中の自立語に―線をつけましょう。

- ① 今日は、とても暑い。
- ② みんなの前で歌を歌う。
- ③ 教室は、きれいだ。

まず、文節に区切りましょう。そうすると、自立語と付属語の区別がつくよ。



付属語とは↓「私は」「家に」「の」「は」「の」のように、いつも自立語のあとにあり、自立語といっしょでなければ一文節を作ることができない単語のこと。

☆ 次の各文中の付属語に||線をつけましょう。

- ① とても|| こわい|| 話だ。
- ② 給食の|| 献立は、|| カレー|| ライスだ。
- ③ 私は||、|| 速く|| 走ります。

文節に区切り、単語に分けるとさらに見つけやすくなります。また、付属語は、一文節にないときもありますし、二つ以上あるときもありますよ。

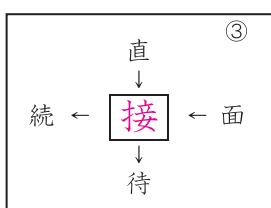
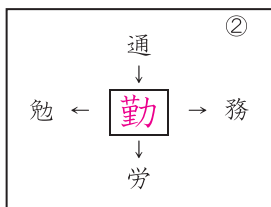
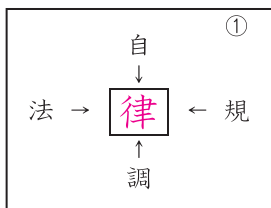


☆ 次の各文中の自立語に―線を、付属語に||線をつけましょう。

- ① 美しい花が咲く。
- ② やっと涼しくなった。
- ③ 金星がきらきらと輝いている。
- ④ きれいな星が夜空に美しく輝いています。
- ⑤ 誕生日にセーターを買ってもらう。
- ⑥ 昼食をとってから会議を始めます。


【漢字に親しもう】

矢印の方向に読むと、漢字二字の熟語ができます。□に入る適切な漢字を書きましょう。



# 用言の活用

学習日 月 日 ( )



確認しておこう

☆ 動詞・形容詞・形容動詞の三つを合わせて「用言」といいます。

見分けるためには……言い切りの形にすることです。


- 動詞 ↓ 「ウ段の音」で終わる(例えば、「書く」「読む」「話す」など)
- 形容詞 ↓ 「ーい」で終わる(例えば、「美しい」「速い」「楽しい」など)
- 形容動詞 ↓ 「ーだ」で終わる(例えば、「静かだ」「便利だ」など)

☆ 用言(動詞・形容詞・形容動詞)は、用い方によって言葉が規則的に変化します。そうした変化を「活用」といい、活用してできた形を「活用形」といいます。活用形は、六つあります。

未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形	命令形
-----	-----	-----	-----	-----	-----

☆ 次の用言の品詞を書きましよう。

- ① 彼女は、とても優しい。( ) **形容詞**
- ② 彼の小説を読む。( ) **動詞**
- ③ にぎやかな市場を訪れた。( ) **形容動詞**
- ④ あのバイオリンは、高かろう。( ) **形容詞**




ポイントー線のすぐあとに続く言葉から判断するといよいよ。

☆ 次の傍線の活用形を書きましよう。

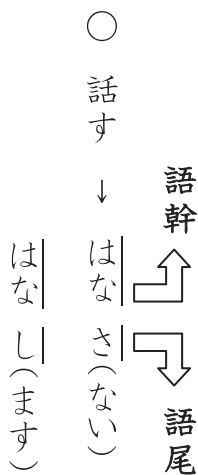
- ① 特別公開の書をゆっくり見れば、よい。( ) **仮定形**
- ② 次の新幹線に乗るために、少し急いで歩け。( ) **命令形**
- ③ 美しい海をのんびりと眺める。( ) **連体形**
- ④ 初めて飛行機に乗る。( ) **終止形**
- ⑤ 知らない地域がたくさんあるので、訪れたい。( ) **未然形**
- ⑥ 海外旅行の計画を考えた。( ) **連用形**

## 活用形に注目



確認しておこう

活用形の中で、形の変化しない部分を「語幹」といいます。また、形の変化する部分を「語尾(活用語尾)」といいます。



「着る」「みる」などのように語幹と語尾の区別がつかないものもありますので、気をつけましよう。

品詞↓単語を①自立語か、付属語か。②活用するか、しないかによって分類したものを「品詞」といいます。単語は、必ずどこかの品詞に分類されます。

☆ 次にあげた品詞にあてはまらないものが、それぞれの語群に一つずつあります。それを探して、言葉に○をつけましょう。

- ① 動詞↓書く 育てる 笑う する 来る 便利だ
- ② 形容詞↓美しい 優しい 楽しい 勝つ うれしい
- ③ 形容動詞↓元気だ 起きる 具体的に 立派だ
- ④ 副詞↓にこのこと ワンワン どの かなり きつと
- ⑤ 接続詞↓まるで そして しかし だが また
- ⑥ 連体詞↓この 大きな 小さい ある わが
- ⑦ 助詞↓での せる こそ ながら
- ⑧ 助動詞↓だらしい られる たい する

⑥ ↓「小さい」は形容詞、「大きな」「大きい」の品詞には注意しましょう。品詞の特徴を確認しておこうね。

☆ 次の各文の―線部の単語の品詞名を下の□から選んで書きましょう。

- ① この祭りは、とてもにぎやかだ。(ウ)
- ② 彼女は私の親友です。(オ)
- ③ 鳥取県は、私の故郷です。(エ)
- ④ 鳥取砂丘、または大山を訪れたい。(ク)
- ⑤ いいえ、私はトリリンです。(ケ)
- ⑥ 大きな荷物を運んでいる。(キ)
- ⑦ 梨の花が咲くのは、四月です。(サ)
- ⑧ 二日間の旅行はとても楽しかった。(イ)
- ⑨ 迷子になっていた幼い子どもを助ける。(ア)
- ⑩ 冬は、カニのおいしい季節です。(コ)
- ⑪ 明日はきつと晴れるだろう。(カ)

- ア 動詞
- イ 形容詞
- ウ 形容動詞
- エ 名詞
- オ 代名詞
- カ 副詞
- キ 連体詞
- ク 接続詞
- ケ 感動詞
- コ 助動詞
- サ 助詞

付属語は「助動詞」と「助詞」です。違いがわかるかな？  
品詞の特徴やはたらきは、整理しておくといいよ。



問題に挑戦

☆ 次の語の中から動詞を探して、○で囲みましょう。

春 寒い (見る) (笑う) 彼 (来る) 暑い (研究する) 静かだ

☆ 次の動詞の活用の種類を書きましよう。

- ① 運ぶ ( 五段活用 )      ② 生きる ( 上一段活用 )
- ③ 答える ( 下一段活用 )      ④ 勉強する ( サ行変格活用 )
- ⑤ 鳴く ( 五段活用 )      ⑥ 来る ( カ行変格活用 )

☆ 次の動詞の線部の活用の種類と活用形を例を参考にして、書きましよう。

例 朝食をたくさん食べる。( 下一段活用・終止形 )

① 私は、自己新記録をめぐして走りました。

( 五段活用 )      ( 未然形 )

② 寒くなったので、コートを着る。( 上一段活用 )      ( 終止形 )

③ チケットが取れば、コンサートに行く予定です。

( 下一段活用 )      ( 仮定形 )

④ 待ち合わせの時間がきたのに、まだだれもこない。

⑦ ( カ行変格活用・連用形 )      ⑧ ( カ行変格活用・未然形 )

⑤ 土曜日の午後は、一緒に勉強をしよう。

( サ行変格活用 )      ( 連用形 )

◎「活用」と「活用形」の区別を…何を問われているのか確認してね。

「活用の種類」とは… 五段活用 など  
「活用形」とは… 未然形 連用形 など



確認しておこう

動詞の活用の種類

五段活用 ↓ 五十音図の五段にわたって活用する

上一段活用 ↓ 五十音図のイ段だけに活用する。

下一段活用 ↓ 五十音図のエ段だけに活用する。

カ行変格活用 ↓ 「来る」だけ活用する。( カ行の特別な活用である。 )

サ行変格活用 ↓ 「する」と複合動詞「—する」だけに活用する。

( サ行の特別な活用である。 )

◎五十音図・行・段とは？

ア段

ア行あいうえお

かきくけこ

さしすせそ

◎複合動詞「—する」とは、

- ① 和語+する      など
- ② 漢語+する      など
- ③ 外来語+する      など
- ④ デザインする      など

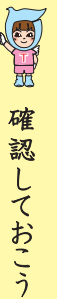


☆ 次の動詞の活用表を完成させましょう。

基本形	歩く	伸びる	出る	する
語幹	ある	の	で	
未然形	―か	―び	で	させし
連用形	―いき	―び	で	し
終止形	―く	―びる	でる	する
連体形	―く	―びる	でる	する
仮定形	―け	―びれ	でれ	すれ
命令形	―け	―びよ	でよ	せよ

☆ 次の動詞を( )中の言葉に続くように活用させましょう。

- 例 立つ (た) ↓ (立った) ( )
- ① 持つ (た) ↓ (持った) ( )
- ② 飛ぶ (だ) ↓ (飛んだ) ( )
- ③ 折る (て) ↓ (折って) ( )



確認しておこう

◎可能動詞 ↓ 五段活用の動詞に「できる(可能)」の意味を加えた動詞を、可能動詞といいます。可能動詞は下一段活用となって、命令形はありません。

例 動詞 ↓ 書く(五段活用) 可能動詞 ↓ 書ける(下一段活用)

◎動詞の音便 ↓ 次の三つです。

- ① イ音便 ↓ 「書く」 ↓ 「た」に続くために「書いた」となります。
- ② 撥音便 ↓ 「読む」 ↓ 「だ」に続くために「読んだ」となります。
- ③ 促音便 ↓ 「走る」 ↓ 「た」に続くために「走った」となります。

☆ 可能動詞の問題です。次の動詞を「〜できる」という意味の可能動詞に変えましょう。例 走る (走れる)

- ① 聞く (聞ける) ( )
- ② 話す (話せる) ( )
- ③ 読む (読める) ( )
- ④ 登る (登れる) ( )
- ⑤ 飲む (飲める) ( )



①〜⑤のように問題を作ってみよう。

可能動詞になるのは、五段活用の動詞だよ。答えも書いてね。

- (例)
- ア 飛ぶ (飛べる) ( )
- イ 泣く (泣ける) ( )
- ウ 行く (行ける) ( )

# 形容詞

学習日 月 日 ( )



確認しておこう

形容詞は、事物の性質や状態を表すものです。また、形容詞は自立語

で、活用します。「早い」「美しい」「楽しい」などの言い切りの形は「ーい」で

終わります。

※ はたらきは形容動詞とほとんど同じです。しかし、形容動詞は、

言い切りの形が「ーだ」で終わります。

☆ 次の一線部の形容詞の活用形を書きましよう。

(活用形を忘れた人は、ヒントを見てくださいなね。)

- ① 十二月の「とっとり花回廊」は、イルミネーションがとても美しい。
- ② 暑い夏だったので、熱中症対策をしながら、部活動に取り組んだ。
- ③ 魚市場を訪れた。大きな松葉ガニは、おいしかろう。
- ④ 文化祭では、全校合唱を行います。ご都合がよければ来てくださいな。
- ⑤ 庭に積もった雪が、白く輝いている。
- ⑥ 今年も、大山の紅葉は美しくかった。

ヒント 活用形：…とは次の六つでしたね。

未然形 連用形 終止形 連体形 仮定形 命令形

☆ 次の形容詞の活用表を完成させましよう。形容詞の活用は一つだよ。

新しい	基本形
新し	語幹
ーかる	未然形
ーかつ ーく (う)	連用形
ーい	終止形
ーい	連体形
ーけれ	仮定形
○	命令形

形容詞の音便 ↓ 「ウ音便」

形容詞の連用形に「ございませ」  
「存じます」が続くとき、語尾が「う」に変化します。

例 うれしい

うれしゅう 存じます。

あぶない

あぶのう ございます。

⑥	⑤	④	③	②	①
未然形	連用形	仮定形	未然形	連体形	終止形

☆ 次の文の形容詞に一線をつけ、その右側に活用形を書きましよう。

例 博物館は、少し遠かつた。

連用形

- ① この本は、とてもおもしろかつた。
- ② 寒い日が続くと作物が心配だ。
- ③ 安くなれば、買えるのだが。
- ④ 検定に合格して、さぞうれしかろう。

未然形

連体形

連用形

未然形



# 形容動詞

学習日 月 日 ( )



確認しておこう

形容動詞は、事物の性質や状態を表すものです。また、自立語で、活

用します。例えば、「豊かだ」「元気だ」「正確だ」などの言い切りの形は

「だ」で終わります。

※「だ」の丁寧な形の「です」でも活用するので、形容動詞の活用の種類は、二つになります。

☆ 次の一線部の形容動詞の活用形を書きましよう。

(活用形を忘れた人は、ヒントを見てくださいなね。)

- ① クリスマスパティーでは、みんながにぎやかに過ごした。
- ② 交通アクセスが便利ならば、観光客は多くなるだろう。
- ③ 彼は、とても素直な人です。
- ④ 休園日の動物園は静かだろう。
- ⑤ この地域は、自然が豊かである。
- ⑥ 町のシンボルの時計は、常に正確だ。

ヒント 活用形：とは次の六つでしたね。

未然形 連用形 終止形 連体形 仮定形 命令形

☆ 次の形容動詞の活用表を完成させましよう。

豊かです	豊かだ	基本形
豊か	豊か	語幹
―でしよ	―だろ	未然形
―でし	―(に)だっ	連用形
―です	―だ	終止形
―(です)	―な	連体形
○	―なら	仮定形
○	○	命令形

☆ 次の文の形容動詞に一線をつけ、その右側に活用形を書きましよう。

例 とても不思議な事件だった。

連用形

① 静かな秋の夕暮れだった。  
連体形

② 海が穏やかなら、遊覧船観光ができる。  
仮定形


③ この子犬は、じょうぶに育って欲しい。  
連用形

④ もっと、努力が必要だ。  
終止形

⑥	⑤	④	③	②	①
終止形	連用形	未然形	連体形	仮定形	連用形



連体詞・こそあど言葉 学習日 月 日 ( ) ( )

 確認しておこう

連体詞：… 自立語で活用がなく、連体修飾語になる単語のことです。

例えば この本 どの店 例の話 大きな人 ある日 わが国…等


連体詞と形容動詞：…どちらか？見分ける時のポイント

活用がないのが連体詞でした。だから、言い切りの「だ」にしてみると  
違いがよくわかります。

形容動詞 穏やかな↓穏やかだ ○ 連体詞 大きな↓大きだ ×

☆ 次の各文から連体詞を探し、一線をつけましょう。

- ① あの話はどうなりましたか。
- ② 小さな子どもが絵本を読んでいる。
- ③ 彼らは、いかなる困難も乗り越えて、幸せになった。
- ④ その図書館は、私の学校の近くにありますが。
- ⑤ 大都市には、いろんな国の人が、住んでいる。
- ⑥ 新しい物質を発見するとは、たいした人だ。

 確認しておこう

◎ こそあど言葉…おぼえているかな？

単語の初めに「こ・そ・あ・ど」のつく指示語を  
まとめて「こそあど言葉」といいます。品詞に分  
類すると、代名詞・連体詞・副詞・形容動詞と  
分類できます。

☆ 次の各文の一線部の品詞名を書きましよう。

- ① これは、どこで作られたものですか。
- ② こんな作品は、今まで見たことがない。
- ③ どの人にインタビューしようか。
- ④ そう考えると、あなたの意見は正しい。
- ⑤ どちらの交通機関を利用しますか。
- ⑥ あの日のことは、決して忘れない。

「こ」を例にすると

代名詞 ↓ これ こ

こちら こっち

連体詞 ↓ この

副詞 ↓ こう

形容動詞 ↓ こんなだ

「そ・あ・ど」の言葉について  
も確認しておこうね。

①	代名詞
②	形容動詞
③	連体詞
④	副詞
⑤	代名詞
⑥	連体詞